

次の10年、更なる将来へと 持続可能な社会に貢献

代表取締役社長 CEO

大越 博雄

将来予測が難しいということを表現するVUCA*1やバックカスティング*2という単語を耳にすることが多くなりました。このような“将来予測が難しい、今までのやり方が通用しない”状況で、SDGsの目標達成時期として掲げられている2030年まであと10年を切りました。

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる良質で安価な動力をつくりたいとの思いを胸に誕生しました。その後の技術革新やグローバル化の進展に合わせて当社の用途市場の構成も大きく変わり、現在では自動車電装機器用途向けの販売が7割以上を占めるようになっていました。しかし、小型直流モーター専門メーカーとしての使命は、創立66周年を迎えた今日でも変わりはありません。当社は、より良い製品を安定的に提供し、人々の暮らしを便利に・快適に・安全にするお手伝いをする中で、現代社会が直面している様々な課題において、モーターという製品を通じて事業活動を継続し、社会に貢献してまいります。

マブチグループのすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』の実践は、持続可能な社会の実現に向けた価値創造そのものです。当社は、社会的な課題を事業活動に落とし込み、ステークホルダーの皆様からのご意見、ご要望を受け止め、次の活動へと活かしています。こうしたPDCAサイクルをマブチグループの経営において継続していくことが重要だと考えております。次の10年、更なる将来へ向けた活動を推進するため、当報告書の特集「マブチグループの価値創造」にてその想いをお伝えしていますので、ご覧いただけますと幸いです。

当社は不変の経営理念のもと、マブチグループが一丸となり、様々なステークホルダーの皆様とともに、社会が抱える課題の解決に向けた事業活動を積極的に継続してまいります。今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

* 1 : VUCA = Volatility/変動性、Uncertainty/不確実性、Complexity/複雑性、Ambiguity/曖昧性の頭文字を取った言葉

* 2 : バックカスティング = 未来を起点として、そこから逆算して、今何をすべきかを考える手法